

布津笑楽校だより

第15号

令和6年3月1日
南島原市立布津小学校
文責：校長 横田秀富

卒業・進級に向けて一日一日を大切に…。

3学期は、始業とともに「立腰タイム」を実施しています。心を落ち着け、よい姿勢で学びに向かうためです。落ち着いた朝のスタートを切ることができています。「1月は行く、2月逃げる、3月去る。」、あっという間に時間が過ぎていきます。まさに「光陰矢の如し」です。6年生は「卒業」、1～5年生は「進級」へ向けて、「まとめ」と「つなぎ」をテーマに学校生活を送っています。自分自身の学習や生活を振り返り、できるようになったことやこれから頑張って取り組んでいくことを確かめる大切な3学期です。一日一日を大切にしていきたいものです。

☆布津笑楽校ミニ日記

2/19 クラブ見学(3年)

3年生は、4年生に進級するとクラブ活動が始まります。それぞれのクラブがどのように活動しているのかを見学し、進級後、どのクラブに入りたいのかを考える機会です。目をキラキラ輝かせながら、順に見学をしていました。きっと4年生になる楽しみが一つ増えたのではないのでしょうか。

2/21 あけぼの荘訪問(3年)

総合的な学習の時間に「福祉」をテーマに学習を進めている3年生が、学習の一環として地域にある「あけぼの荘」に訪問をしました。お年寄りの方々と触れ合うことを通して、相手のことを思いやる気持ちの大切さなどを学び、充実した表情の3年生でした。あけぼの荘の皆様大変お世話になりました。

2/22 6年生を送る会

縦割り掃除や集団登校、運動会などで下級生をお世話し、リードしてきた6年生に感謝の思いを伝える「6年生を送る会」を5校時に実施しました。どの学年も歌やダンスなど趣向を凝らした出し物と感謝の思いを言葉やプレゼントで伝えました。全校ゲームのじゃんけん列車もみんな楽しんでました。6年生は各学年へのメッセージを俳句に表して発表しました。笑顔と楽しさいっぱいの思い出に残る6年生を送る会ができました。

2/26 アスリート派遣事業(6年)

5・6校時に長崎市出身の元水泳選手、中尾美樹さん(2000年シドニー五輪の女子200メートル背泳ぎ銅メダリスト)を講師として、長崎県教育委員会アスリート派遣事業が行われました。子どもたちは、世界で活躍した中尾さんのお話に興味深く聴き入っていました。銅メダルも見せてもらいました。一緒に簡単な体力向上のためのトレーニングを行い、心も体も暖かくなるひとときを過ごすことができました。「本物に触れる」貴重な機会となりました。

布津小学校の中央玄関に入ると、かわいい雛飾りが出迎えてくれます。2月中旬に本校用務員が制作しました。3月3日は、桃の節句・ひな祭りです。桃の節句は、古代中国の上巳節(じょうしせつ)が起源であるといわれ、3月上旬にあたる上巳節は、季節の変わり目で邪気が入りやすいとされていたため、人々は水辺でみそぎをし、身を清めていたそうです。旧暦3月3日頃に桃の花が咲くことや桃は魔除けの効果をもつと信じられていたことに由来するそうです。ひな祭りには、子供に災いが降りかからないようにという家族の願いや人生の幸福が得られるようにという気持ちを込めてひな人形を飾るようになったそうです。



☆☆布津笑楽校ミニギャラリー☆☆

家庭・地域配布分には掲載しています。

☆☆☆布津駐在所から子どもたちの交通安全についてのお知らせがありました☆☆☆

中通の布津駐在所前の道路は、緩やかなカーブになっています。時間帯によっては交通量も多いことや見通しがよくないため、交通事故が発生する恐れが大きいということで、青少年健全育成協議会のご協力により通行する車両の運転手さんへの注意喚起のための看板が設置されたとのことでした。上り下りのいずれからも見えるように設置されています。大切な子どもたちの生命を守るための対策に感謝いたします。

※布津駐在所を少し通過した付近のカーブミラーに設置されています。

